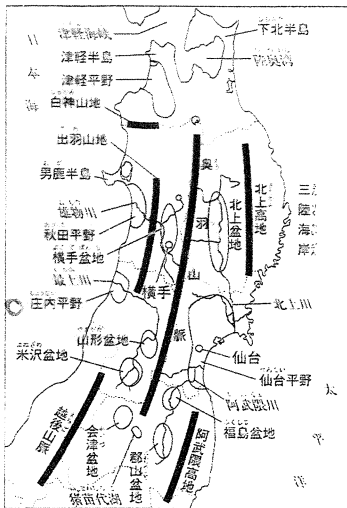
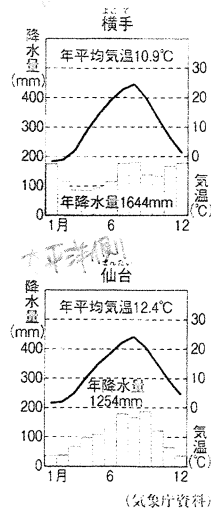
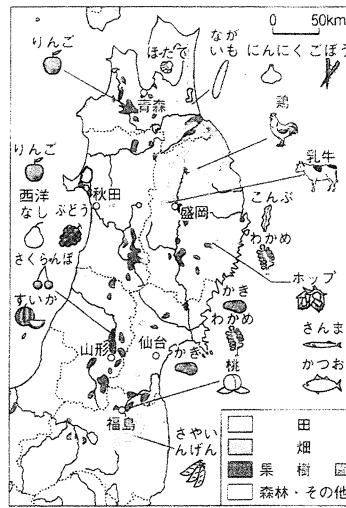




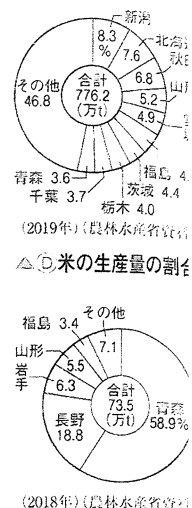
△A 東北地方の自然



△B おもな都市の雨温図



△C 東北地方の土地利用と農産物



△D りんごの生産

① 東北地方の自然環境(図表のワーク①~⑥) P.256・257

- 地形…奥羽山脈・北上高地・出羽山地などが南北に連なる。北部に世界遺産の白神山地。各地に盆地や平野。三陸海岸南部にリアス海岸。
- 気候…日本海側…冬の季節風が雪をもたらす。太平洋側…雪が少ない。やませとよばれる冷たい北東風の影響で夏の気温の低下。

② 伝統行事と生活・文化の変化(図表のワーク⑦) P.258・259

- 伝統行事…秋田竿燈まつり・青森ねぶた祭など…重要な観光資源。
- 仙台市…東北地方で唯一の政令指定都市…都市圏を形成。

③ 稲作と畑作に対する人々の工夫や努力(図表のワーク⑨、⑪) P.260・261

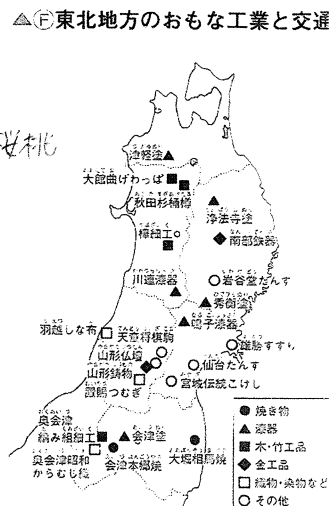
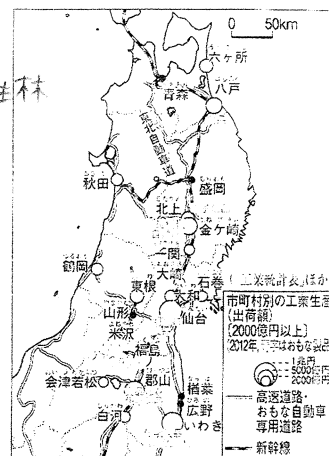
- 米づくり…古くから稲作がさかん。太平洋側でやませが吹くと冷害がおこることがある。米の消費量の減少→減反政策→転作を行う一方で、品種の改良により「ひとめぼれ」・「あきたこまち」・「はえぬき」などの銘柄米を開発。
- 冷涼な気候の農業…寒さに強いそば・小麦や、さといもを古くから栽培。

④ 果樹栽培と水産業における人々の工夫や努力(図表のワーク⑧、⑩、⑫、⑬) P.262・263

- 果樹栽培…盆地の扇状地や平野で果樹栽培がさかん。山形県のさくらんぼ、西洋なし、青森県のりんご、福島県の桃など日本有数の生産量を誇る。
- 漁業…三陸沖合いに潮目(潮境)があり漁業がさかん。三陸海岸や陸奥湾で養殖業。東北地方太平洋沖地震で漁港や水産加工場が大きな被害を受けた。

⑤ 工業の発展と人々の生活の変化(図表のワーク⑭~⑰) P.264・265

- 工業…かつては、冬の間は出稼ぎ→交通網の整備により工業団地が発達→出稼ぎに行く人が減る。高速道路沿いに自動車などの工場が進出。
- 伝統的工芸品…地元でとれる材料を用いて、職人を育成したり農家の副業にしたりして発達。南部鉄器・津軽塗・天童将棋駒・会津塗など。



△E 東北地方の伝統的工芸品